

○道路・横断歩道上

笑顔で幼稚園生の男の子が手を振っている。
幼稚園生「さようなら」

そこへ車がつつこんで幼稚園生がひかれる。

○花屋前

笑顔で店員の女性がパラソルを閉じる。

店員「さようなら」

その頭上に大きな看板が落っこちてくる。

○駅・ホーム

杖をついた老人の男性が笑顔で立っている。

老人「さようなら」

線路に老人が落ち、そこへ電車が滑り込んでくる。

○鈴木のアパート・寝室

鈴木（22）、がばっと目を覚ます。激しく息を切らしながら周囲を見回すと、ほっと息をつく。

○同・玄関

支度を済ませた鈴木、靴をはいてドアを開けようとうする。が、手がドアノブをすり抜けてしまう。

鈴木「えっ……？」

外側からドアが開かれる。そこには笑顔の紳士。

紳士「こんにちは。いらつしやい」

鈴木「はっ、えっ？ だ——」

紳士、玄関に入って鈴木の手首を力強くつかむ。

紳士「そして……さようなら」

満面の笑顔だが、目は笑っていない。（終）